

中期計画の項目				NO	H25年度実績評価	備考	
県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	1 医療の提供	(1)政策医療の提供	① 県立中央病院	ア 救命救急医療	1	S	ドクターヘリ及びドクターカーの活用により、早期に高度な救命救急医療の提供を行っている。
				イ 総合周産期母子医療	2	A	山梨大学附属病院及び国立甲府病院と役割分担し、専門的な医療の提供を行った。また、NICUにおいて退院支援コーディネーターを配置し、サポート体制を構築した。
				ウ ガン医療	3	A	ゲノム解析センターにより、がんの発生予防に取り組み、がん医療の質の向上に努めた。このほか、がん相談、がん医療の啓発活動を継続した。
				エ 難病(特定疾病)医療	4	B	
				オ エイズ医療	5	B	
				カ 感染症医療	6	B	危険度が極めて高い一類感染症等の患者の受け入れ体制を維持した。また、感染症専従看護師の配置及び診療継続計画・対応マニュアルを作成した。
		② 県立北病院	ア 精神科救急・急性期医療	7	A	病棟の再編を行い、精神科救急・急性期医療の充実を図った。また多職種医療チームによる治療により患者の退院支援、通院支援等を行った。	
			イ 児童思春期精神科医療	8	A	児童思春期精神科医療の受け入れ体制を強化した。	
			ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療	9	A	指定入院医療機関・指定通院医療機関として充実した医療を提供し、対象者の社会復帰を促進した。	
			ア 医師の育成・確保	10	S	平成25年度においても定員どおりの医師を確保した。	
	(2)質の高い医療の提供	① 医療従事者の確保	イ 7対1看護体制の導入	11	A	看護師確保対策として、採用試験を複数回実施するとともに、正規職員の中途採用を行い、7対1看護体制の継続に努めた。	
			② 医療の標準化と最適な医療の提供	ア クリニカルパスの推進	12	B	
		イ 診断群分類包括評価(DPC)の導入		13	S	DPC/PDPSから得られるデータを活用し、クリニカルパス数の新設、適用件数が増加した。また、平成25年度までの実績により平成26年度からDPC医療機関群がⅡ群に登録された。	
		③ 高度医療機器の計画的な更新・整備	14	B			
	(3)県民に信頼される医療の提供	① 医療倫理の確立	15	B			
		② 患者・家族との信頼・協力関係の構築	16	B			
		③ 医薬品等に関する情報の的確な提供	17	B			
		④患者サービスの向上	18	B	患者満足度調査において、約7割以上の方が満足しているが、従前からの課題であった外来患者の待ち時間について速やかな取り組みを求める。		
		⑤診療情報の適切な管理	19	A	年度計画を達成するための取り組みがなされた。今後は病院情報システムから得られた情報を今後の病院運営に活かされることを期待する。		
		⑥診療支援システムの充実	20	A	電子カルテシステムを順調に稼働させ、質の高い効果的な医療の提供、事務の効率化を図った。		
		⑦ 医療安全に関する情報の収集・分析	ア リスクマネージャーの活用	21	B		
	イ 情報の共有化		22	B			
2 医療に関する調査研究		23	A	治験、調査及び臨床研究等に積極的に取り組んでいる。			
3 医療に関する技術者の研修	(1)医療従事者の研修の充実	24	B				
	(2)県内の医療水準の向上	25	B				
4 医療に関する地域への支援	(1)地域医療機関との協力体制の強化	26	B				
	(2)地域医療への支援	27	B				
	(3)社会的な要請への協力	28	B				
5 災害時における医療救護		29	A	平成26年2月の大雪の際には、迅速に院内災害対策本部を設置し、透析患者の搬送に当たると共に、通常の診療体制を維持した。			
業務達成率を向上させるための改善とるべき措置	1 簡素で効率的な運営体制の構築	30	A	病院会議などで院内の課題等の共有化が図られている。			
	2 効率的な業務運営の実現	31	B				
	3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減	32	B	診療報酬請求事務を適正に行うための体制の強化に取り組んだ。一方、後発医薬品の採用比率が横ばいで有り、採用の推進を求める。			
	4 事務部門の専門性の向上	33	B	事務職員のプロパー化を進めているが、専門性を向上させるための研修制度を確立すること。			
	5 経営参画意識を高める組織文化の醸造	34	A	院内において、各科の稼働状況や課題について検討するなど、経営参画意識の向上に努めている。			
	6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備	35	B				
予算、収支計画及び資金計画、短期借入金の限度額				36	A	経常利益は年度計画を上回ったが、特定共同指導により総利益は年度計画を下回った。特定共同指導を重く受け止め、今後の病院経営に活かされることを求める。	
その他の業務運営に	1 保健医療行政への協力	37	B				
	2 法令社会規範の遵守	38	B				
	3 積極的な情報公開	39	B				
	4 移行前の退職給付金に関する事項	40	S	地方独立行政法人移行時に課題であった18億円の退職給付引当金を平成23年度までに解消した。			
	5 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項	41	A	県の基幹病院としての医療を確実に実施するための人員の確保に努めた。			
評価S…当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている				S	4		
評価A…当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている				A	14		
評価B…当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である				B	23		
評価C…当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている				C	0		
評価D…当該事業年度における中期計画の実施状況が著しく劣っており、大幅な改善が必要				D	0		